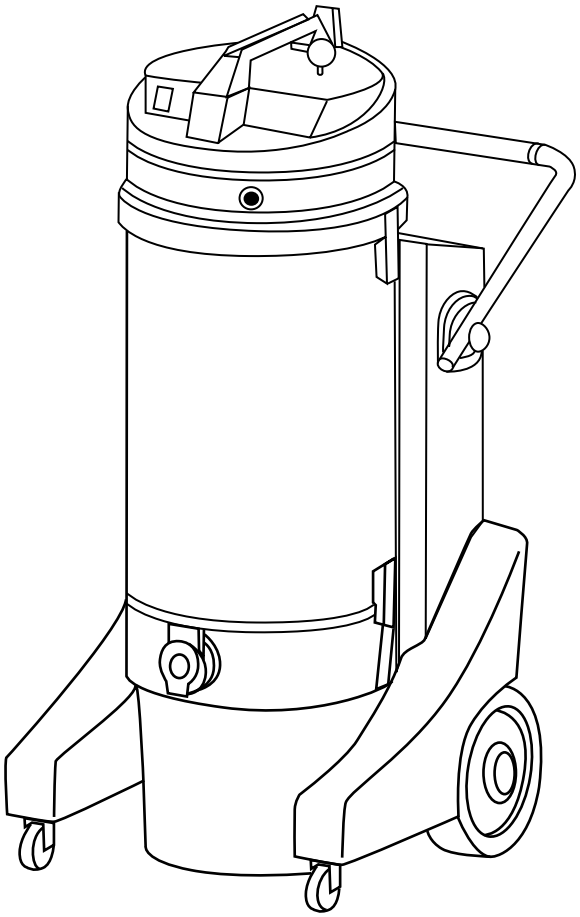
| Doc. No. | EXT 020U-01 |
|---|---|

# 取 扱 説 明 書

## P300i ポータブルユニット

## (Nederman)



**⚠ 警告**

安全のため、本機のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要事項を良く理解してください。
お読みになった後は、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

## - はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、本製品を安全に正しくかつ効率的にお使いいただくための重要な事項を記載しています。本製品をお使いになる前に本書を熟読し、特に本書の冒頭の「警告･注意事項」の項をよくお読みになり、ご理解された上でお使いください。なお、本書は本製品をお使いいただく際にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

## - 使用目的

本機は、車両内外の整備や清掃、作業台及び床の清掃、切削・切断時に発生する粉塵などを付属のクリーニングキットやオプションのノズルなどと併用して吸引する装置です。なお、車両の排気ガスなどの吸引や排出、水や油などの液体の吸引、多量の水分や油分を含む粉塵には使用できません。また、本装置で捕集することができるのは粉塵などの粒子状物質のみで、ガス成分の浄化は行うことができません。

## - 警告･注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告･注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。

⚠ 警告： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性、又は重症を負う可能性があります。

⚠ 注意： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

## - 移動や保管上の注意

下記の警告･注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

| ⚠注意 |
| --- |
| - 本機をクレーンなどで持ち上げる場合、本書で指定した吊り下げ方法にて行ってください。本書で指定した方法以外で吊り下げた場合、装置の落下や破損の原因となります。 |
| -本機を保管する場合、高温多湿になる場所を避けてください。電装部品や金属部分が腐食する可能性があります。また、保管前にはゴミ容器の中の全てのゴミを取り除いてください。 |

## 使用上の注意

夏季の警告･注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

### ⚠警告

- アルミニウム粉末（合金含む)、チタニウム、マグネシウムなどの粉塵爆発の危険性が高い粉末の吸引やガソリン、シンナーなどの可燃性ガス、溶接ヒューム、有毒ガスの吸引はおやめください。粉塵爆発や火災、ガスによる中毒を引き起こし、周辺の作業者などが死亡や重大な障害を負う危険性があります。
- 車両排気ガスの吸引や排出にはお使いにならないでください。有害ガス吸引による死亡や障害などを負う危険性や装置が故障する可能性があります。
- 本機は防雨型ではありません。屋外での使用はおやめください。故障や感電などの原因となります。また、屋内においても、高温多湿になる場所での使用はおやめください。密閉された場所を避け、水平で風通しの良い場所で使用してください。
- 本機の分解や改造は行わないでください。また、本機の各部カバーなどを取り外した状態での使用はおやめください。充電部やモーター回転部などに接触し、感電死や負傷の可能性があります。
- 非常に強い吸引力ですので、過って目や耳などにホースやノズルの先端部が接触した場合、失明や聴覚障害などの重大な障害を負う危険性があります。この点を作業者には十分理解させてください。
- 必ず単相 200V のアース付きの電源を用いてください。電源コードは 3 芯ですが、一本はアース線です。三相 200V の電源を接続すると、装置の火災や故障、感電による死亡の可能性があります。
- 故障した場合、必ず当社指定のサービス担当による修理を受けてください。部品交換や修理が適正に行われないと、装置の性能が引き出せないばかりか、装置の火災や再故障、感電による死亡の可能性があります。
- 本機は防爆仕様ではありません。油庫内などの防爆雰囲気での使用はおやめください。本機を使用することで、爆発や引火などの原因となります。

### ⚠注意

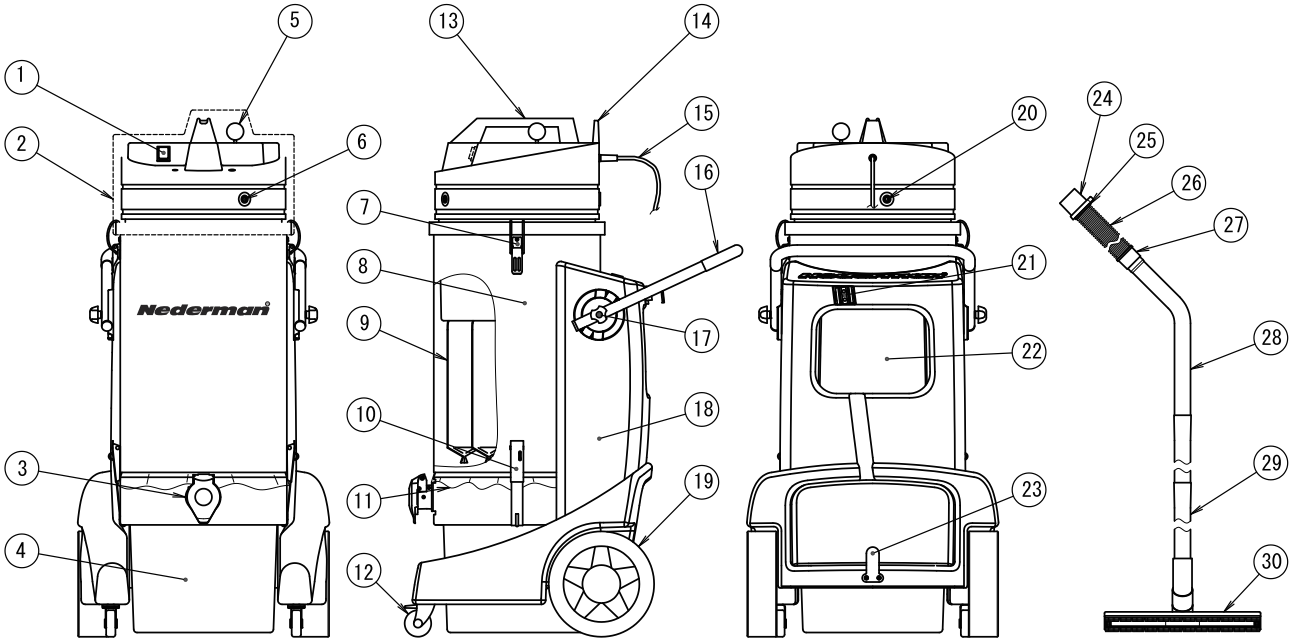
- タバコなどの裸火を吸引することは絶対におやめください。ダクト内部や本装置の集塵部で火災が発生し、重大な事故へとつながります。
- 大きなウェスや新聞紙などは吸わないでください。配管内に詰まり、システムが使用不能になる可能性があります。
- オイルや水分を多く含むゴミや粉塵の吸引は、おやめください。ホースの内壁に固着し、詰まる原因やフィルターが短期間で目詰りを起こす原因になります。オイルや水分を多く含む粉塵（工作機械の切削くずなど）を吸引する場合は、別売のプレセパレーターをお買い求めください。
- 本機は定期的なメンテナンスを行うことで、その性能を維持することができます。必ず日常点検を実施し、定期的に弊社サービスマンによるメンテナンスを受けてください。
- 本機の作動中は、騒音が 75dB(A)に達することがあります。長時間ご使用の場合は、必要に応じて耳栓やイヤーマフなどを装着してください。
- 有害な粉塵を吸引する場合やフィルターを交換する場合、ゴミ容器内のゴミを取り出す場合などは、取扱いを誤ると微細な粉塵やゴミが飛び散る可能性がありますので、保護マスクや保護メガネなどの保護具を装着して下さい。
- フィルターの交換やゴミ容器内のゴミを取り出す時は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。不意にモーターが動き出し、微細な粉塵を撒き散らす原因となります。
- バルブを閉じたまま長時間使用したり、ノズルやホースが詰まった状態で長時間使用したり、短時間に起動と停止を繰り返したりしないでください。オーバーヒートや故障の原因となります。

# 目次

- はじめに
- 使用目的
- 警告･注意事項
- 使用上の注意
- 目次


1. 各部の名称 …… 1
2. 移動・保管 …… 2
   2.1 移動 …… 2
   2.2 保管 …… 2
3. 使用方法
   3.1 本機を単独で使用する場合 …… 2
   3.2 本機をエアツールと連動させる場合 …… 2
   3.3 フィルタークリーニング …… 3
   3.4 ファインフィルターの交換 …… 3
   3.5 ダストパック（ビニール袋）の交換 …… 4
   3.6 マイクロフィルター（オプション）の取り付け及び交換 …… 4
4. 保守・点検
   4.1 トラブルシューティング …… 5
   4.2 保守・点検 …… 6
5. 仕様 …… 7
6. 主要寸法 …… 7
7. パーツリスト …… 8
8. 不具合内容 FAX シート …… 9
9. 製品保証登録 FAX シート …… 10
10. 保証規定 …… 11

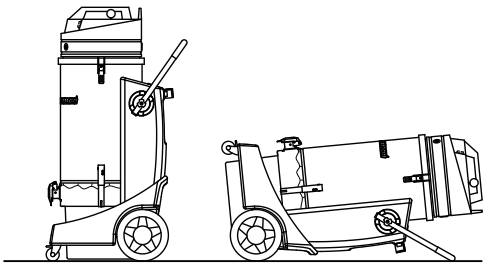
## 1. 各部の名称



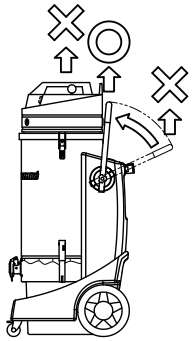

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 電源スイッチ | 16 | ハンドル |
| 2 | モーターユニット | 17 | ハンドル固定用ノブ |
| 3 | フラップバルブ | 18 | フレーム |
| 4 | ダストボックス | 19 | 車輪 |
| 5 | フィルタークリーニング用ノブ | 20 | エア接続口（R1/4 又は Rc1/8） |
| 6 | エアツール接続口（R1/4 又は Rc1/8） | 21 | パイプホルダー |
| 7 | モーターユニット固定用ファスナー | 22 | ポケット |
| 8 | フィルターケーシング | 23 | ノズルホルダー |
| 9 | ファインフィルター | 24 | ホースカプラ（FM40-50P） |
| 10 | ダストボックス固定用ファスナー | 25 | ホースカプラ（M40-38P） |
| 11 | ダストパック | 26 | ホース |
| 12 | ブレーキ付きキャスター | 27 | ホースカプラ（F40-38P） |
| 13 | 上部ハンドル | 28 | エルボパイプ |
| 14 | ケーブルフック | 29 | ストレートパイプ |
| 15 | ケーブル | 30 | フロアノズル |

## 2. 移動・保管

### 2.1 移動



1. 本機を移動する際は、ハンドルを持って行ってください。上部ハンドルを使用しての移動はお止めください。
2. 本機を輸送する際は、直立の状態かもしくはあらかじめ倒した状態で、容易に動いたり転倒したりしない様にしっかりと固定してください。固定にはハンドル部を用いて行い、上部ハンドルには過度な力が加わらないように注意してください。また、ダストボックスを空にし、フラップバルブを閉じた状態で輸送してください。
3. 本機をクレーンなどで吊り上げる場合、ハンドル位置を右図のようにしてから、ハンドルにフックをかける等して吊り上げてください。上部ハンドルにフックをかけて吊り上げないでください。また、ダストボックスを空にし、フラップバルブを閉じた状態で吊り下げてください。

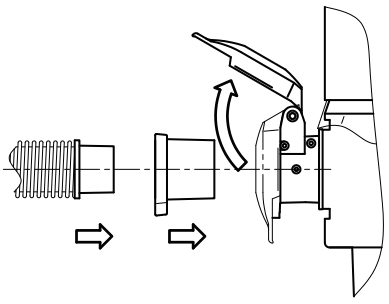


### 2.2 保管

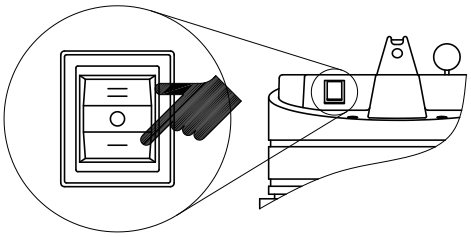
1. 屋内の水滴などのあたらない場所に保管してください。
2. 周辺温度が-10～40℃、相対湿度が 85%以下の場所に保管してください。（但し結露しないこと）

## 3. 使用方法

### 3.1 本機を単独で使用する場合



1）フラップバルブを開け、ホースカプラ（FM40-50P）及びホース・フロアノズル類を接続してください。
2）電源プラグをコンセントに差し込み、本機に電源を供給してください。
3）スイッチをマニュアル側（Ⅰ）に入れてください。スイッチを入れると同時にモーターが作動します。
4）フロアノズルの先端で吸引力が発生していることを確認し、粉塵の吸引作業や清掃作業を開始してください。
5）作業が終了したら、スイッチを切ってください。
6）電源プラグをコンセントから抜いてください。
7）電源コードをまとめ、本機上面のケーブルフックにかけてください。
8）フロアノズルやストレートパイプは、本機裏面のポケットやパイプホルダー及びノズルホルダーに収納してください。

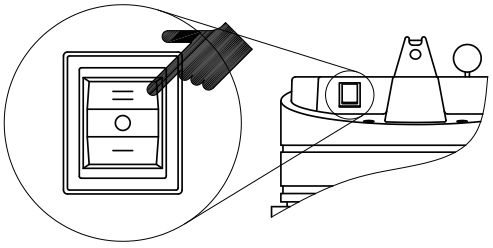


9）ハンドルをしっかりと持ち、本機を邪魔にならないところへ移動してください。

### 3.2 本機をエアツールと連動させる場合

1）フラップバルブを開け、ホースカプラ（FM40-50P）及びホース・フロアノズル類を接続してください。
2）電源プラグをコンセントに差し込み、本機に電源を供給してください。
3）本機前面のエアツール接続口にエアツール用のエアホースを接続し、エアツールを接続してください。エアツール接続口のネジ径は R1/4 又は Rc1/8 になっています。必要に応じ、カプラなどを取り付けてください。
4）一次側の圧縮エア(Max0.7MPa)を本機裏面のエア接続口に導入してください。エア接続口のネジ径は R1/4 又は Rc1/8 になっています。必要に応じ、カプラなどを取り付けてください。

5) エアツールにフード等を取り付け、フード等に本機のホースを接続してください。
6) スイッチをエアツール連動側（ＩＩ）に入れてください。この状態では、まだモーターは作動しません。
7) 接続したエアツールを動かし、本機との連動を確認してください。エアツール作動後、1～2 秒後にモーターが作動し、吸引力が発生します。エアツールを止めると、数秒後にモーターも停止し、吸引力が無くなります。

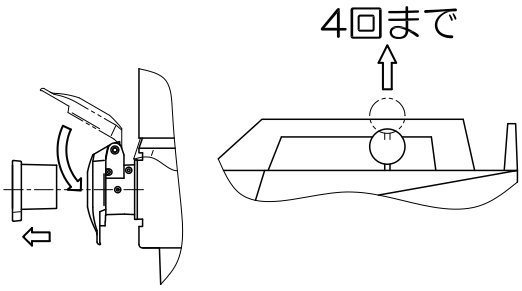


8) エアツールを動かし、吸引力が発生したことを確認して、実作業を開始してください。
9) 作業が終了したら、エアツールを止め、モーターを停止させてください。
10)スイッチを切ってください。
11)電源プラグをコンセントから抜いてください。
12)電源コードをまとめ、本機上面のケーブルフックにかけてください。
13)エアツールなどを取り外してください。
14)ハンドルをしっかりと持ち、本機を邪魔にならないところへ移動してください。

### 3.3 フィルタークリーニング

毎日使用後に実施するか、吸引力が弱くなってきたら都度実施してください。

1) 電源プラグをコンセントに差し込み、本機に電源を供給してください。
2) スイッチをマニュアル側に入れてください。モーターが作動します。
3) フラップバルブからホースカプラ（FM40-50P）やホースを抜き、フラップバルブを閉じてください。
4) 2～3 秒待ち、モーターの音が高まったところで、フィルタークリーニング用ノブを上に引き上げ、手放します。これを 3～4 回実施し、フィルタークリーニングを行ってください。
5) スイッチを切り、本機を停止させてください。長時間、高い吸引圧力を発生させていると、オーバーヒートの原因となります。




**⚠注意**

- **長時間、高い吸引圧力を発生させたり、吸引風量をゼロにさせたりするとファンモーターがオーバーヒートし、故障する原因となります。フィルタークリーニングは、短時間で行ってください。**

### 3.4 ファインフィルターの交換

フィルタークリーニングを実施しても吸引力が改善されない場合、ファインフィルターの交換が必要です。使用状況や粉塵の性状、粉塵の量によって異なりますが、4～6000 時間毎にファインフィルターの交換が必要です。（使用状況や粉塵の性状等により、極端に短くなることもあります。）

1) 作業前に、3.3 フィルタークリーニングの要領に従って、フィルタークリーニングを実施し、実施後 30 分程度放置してください。
2) 保護メガネ、防塵マスクを着用してください。
3) モーターユニット固定用ファスナーのロックを解除し、上部ハンドルをしっかりと持ってモーターユニットを取り外してください。
4) ファインフィルターをフィルターケーシング内からゆっくりと取り出し、ビニール袋などに入れてください。
5) 交換用の新しいファインフィルターを、フィルターケーシング内にゆっくりと入れてください。
6) モーターユニットを乗せ、モーターユニット固定用ファスナーでロックしてください。

7）ファインフィルターを廃棄する場合、産業廃棄物として廃棄してください。また、各自治体の定める方法により分別が必要な場合、その方法に従って廃棄してください。

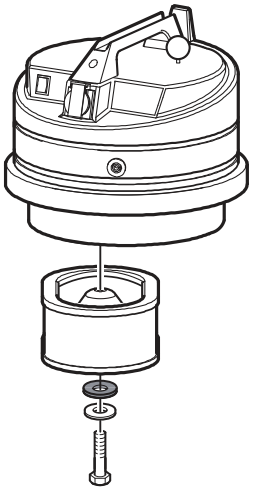
### 3.5 ダストパック（ビニール袋）の交換

ダストパック内がいっぱいになった場合やダストパック内のゴミが 10kg を超えた場合、ダストパックの交換が必要です。

1）作業前に、3.3 フィルタークリーニングの要領に従って、フィルタークリーニングを実施し、実施後 30 分程度放置してください。
2）保護メガネ、防塵マスクを着用してください。
3）ダストボックス固定用ファスナーのロックを解除し、ダストボックスをゆっくりと引き出してください。
4）ビニールをゆっくりと外してください。
5）新しいダストパックをダストボックスに入れてください。この時、ダストパックに開いている穴をダストボックスのフラップバルブ内側の突起に合わせてください。市販のビニール袋をご利用の場合、この部分に穴を開けてください。
6）ダストパックの端をダストボックスの上部外側に出し、ダストボックスをフィルターケーシングの真下に押し込んでください。
7）フラップバルブが正面になるように向きを合わせ、ダストボックス固定用ファスナーでロックしてください。
8）ダストパック内のゴミを廃棄する場合、産業廃棄物として廃棄してください。また、各自治体の定める方法により分別が必要な場合、その方法に従って廃棄してください。

### 3.6 マイクロフィルター（オプション）の取り付け及び交換

より高い浄化率を必要とする場合、オプションのマイクロフィルターを取り付けると浄化率を高めることができます。マイクロフィルターは、一年に一度もしくは吸引力が弱まってきたら交換が必要です。（使用状況や粉塵の性状等により、極端に短くなることもあります。）



1）保護メガネ、防塵マスクを着用してください。
2）モーターユニット固定用ファスナーのロックを解除し、上部ハンドルをしっかりと持ってモーターユニットを取り外してください。
3）モーターユニットの裏側に楕円状に薄いウレタンスポンジが貼り付けられています。このウレタンスポンジを覆うようにマイクロフィルターを置いてください。このとき中心の穴を、モーターユニットのネジ穴にしっかりと合わせてください。既にマイクロフィルターが取り付けられており、新品に交換する場合、既存のマイクロフィルターを取り外してから、新品のマイクロフィルターを取り付けてください。
4）マイクロフィルターに付属のボルトやワッシャーを用いて、マイクロフィルターを固定してください。
5）モーターユニットを元に戻し、モーターユニット固定用ファスナーでロックしてください。
6）交換したマイクロフィルターを廃棄する場合、産業廃棄物として廃棄してください。また、各自治体の定める方法により分別が必要な場合、その方法に従って廃棄してください。

## 4. 保守･点検

### 4.1 トラブルシューティング

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| スイッチを入れても作動しない。 | 一次側電源が供給されていない。 | テスターなどで一次側の電源を確認し、電源を供給してください。 |
| | プラグがコンセントに差し込まれていない。 | プラグをコンセントに接続してください。 |
| | スイッチがエアツール連動になっている。 | スイッチをマニュアル側に戻してください。 |
| | 加熱保護回路の作動 | 5～30 分放置（周辺温度などにより異なります）し、モーター及びファンが冷めるのを待ち、再度動かしてください。 |
| 作動音はするが、吸い込みが弱い。又は全く吸わない。 | ホース類が接続されていない。 | ホース類の接続を確認し、しっかりと接続しなおしてください。 |
| | ファインフィルターが詰まっている。 | フィルタークリーニングを実施し、それでも改善されない場合は、ファインフィルターを交換してください。 |
| | ホースやパイプにゴミが詰まっている。 | ゴミを取り除いてください。 |
| | ダストボックス内にゴミがたまり過ぎている。 | ダストボックス内のゴミを取り出し、ダストパックを交換してください。 |
| | モーターユニットがしっかりと固定されていない。 | モーターユニットをモーターユニット固定用ファスナーでしっかりと固定してください。 |
| エアツールと連動しない | エアツールのエアを他の系統から取っている。 | エアツールのエアは、本機前面のエアツール接続口からお取りください。 |
| | スイッチが入っていない。 | スイッチをエアツール連動側に入れてください。 |
| | 加熱保護回路の作動 | 5～30 分放置（周辺温度などにより異なります）し、モーター及びファンが冷めるのを待ち、再度動かしてください。 |
| モーターが突然止まり、再始動しない | 加熱保護回路の作動 | 5～30 分放置（周辺温度などにより異なります）し、モーター及びファンが冷めるのを待ち、再度動かしてください。 |

上記の処置をしても正しく動作しないときは、お買い上げの販売店又は弊社サービス担当までご連絡ください。

### 4.2 保守･点検

■日常点検及び保守（お客様による）

- 稼動時に異音や振動などが無いか確認してください。
- 各フィルターに破れやほつれが無いか、目視にて確認してください。
- ダストボックスを定期的（使用頻度に応じて。毎日～3 日に一度程度）に確認し、ゴミが多くなってきたらダストパック（ビニール袋）を交換してください。
- フィルタークリーニングを定期的に行ってください。

■定期点検（弊社サービスマンによる）

使用累積時間が 700 時間毎にモーターユニット内のカーボンブラシの交換が必要です。弊社サービスマンによる保守点検を受けてください。

■消耗品など

＜消耗品＞

| 品番 | 名称 | 仕様 |
|---|---|---|
| V119951 | ファインフィルター | PP 製　表面積 0.9㎡ |
| V115011 | ダストパック | 620×720　フラップバルブ用穴付き |
| V085190 | カーボンブラシ | 200V モーター用 |

＜オプション＞

| 品番 | 名称 | 仕様 |
|---|---|---|
| V119970 | マイクロフィルター | 特殊セルロース製　(99.97%,0.3μm) |
| V119990 | 布袋 | |
| 680744 | エアチャック | 日東工器製 PS-20SF 相当品 |
| 680745 | クチガネ | 日東工器製 PS-20PF 相当品 |
| V193620 | スチールノズル | 金属製 |
| V196590 | ハードノズル | φ85 ハードブラシ |
| V196620 | φ25 ノズル | φ25 プラスチック |
| V190020 | ブラシ付き U 型ノズル | U 型ノズル |

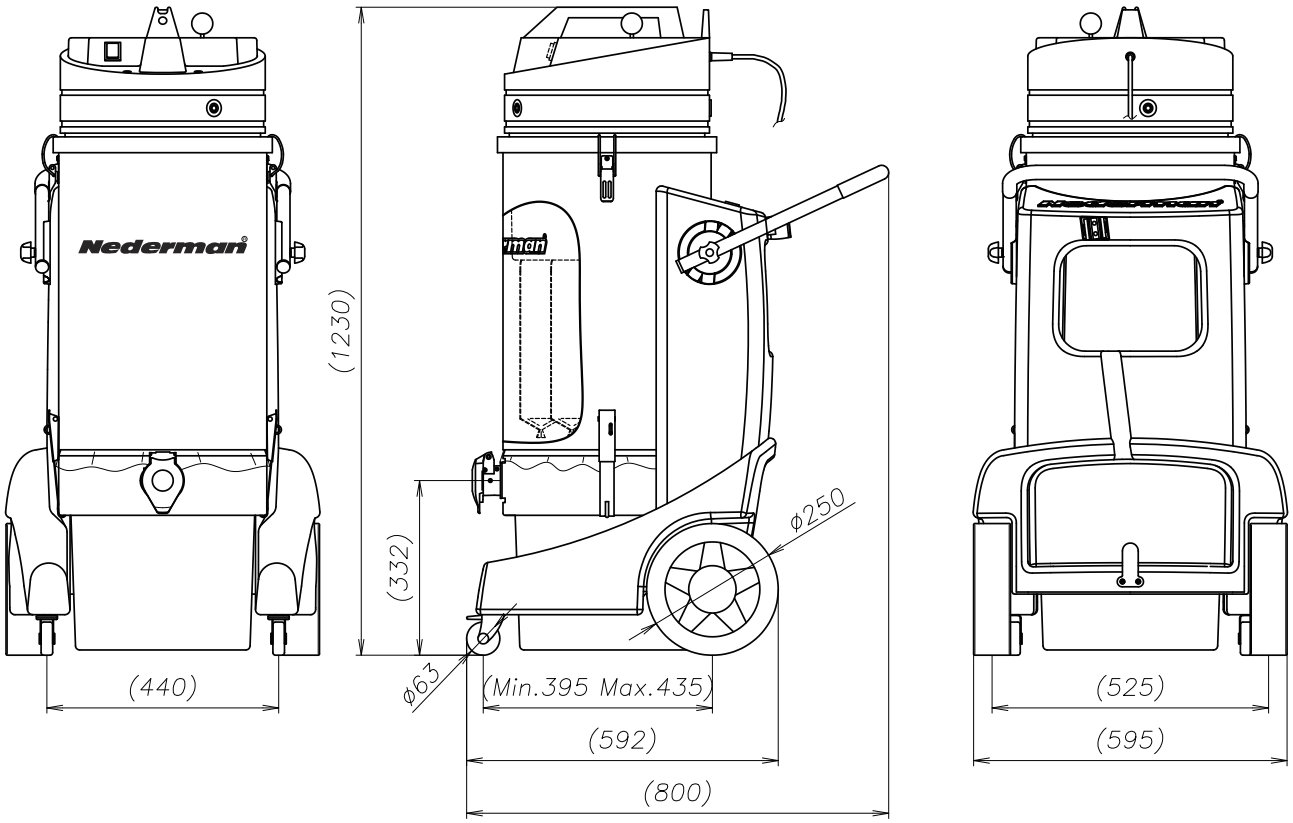
※上記以外にも、各種ノズルなどをご用意致しております。弊社営業までお気軽にお問合せください。

## 5. 仕様

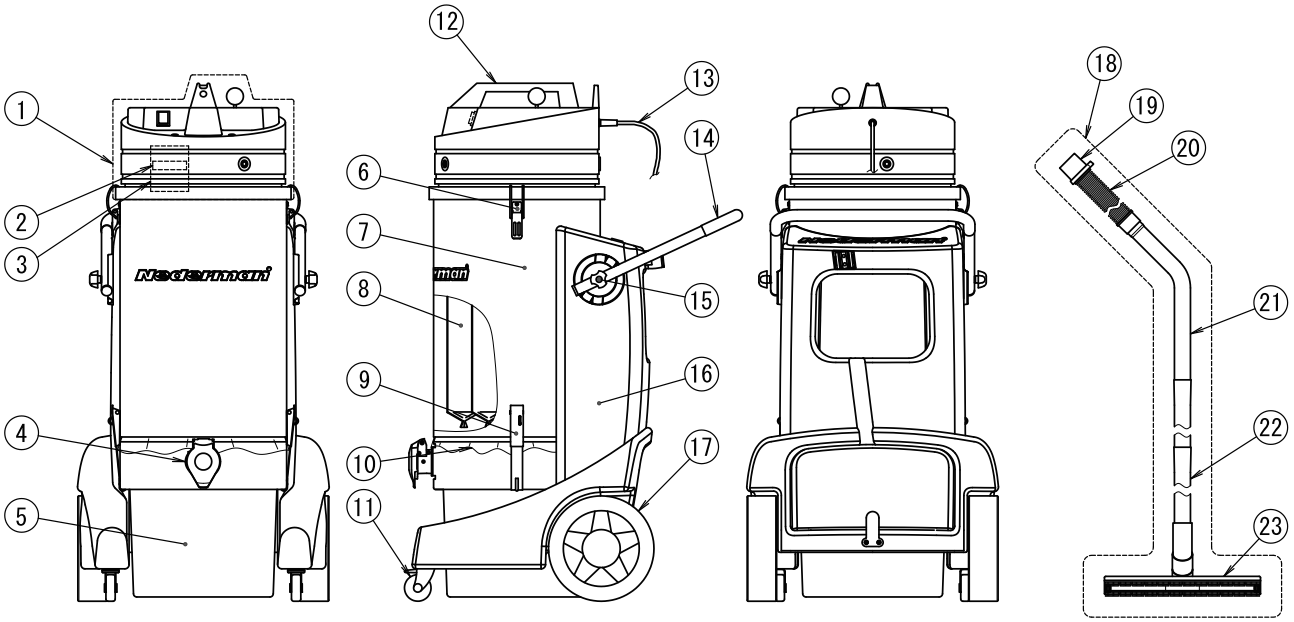
| 製品番号 | | V055470 | |
|---|---|---|---|
| 製品名称 | | ポータブルユニット | |
| 電源 | | 単相 AC200V | |
| 電源周波数 | | 50Hz | 60Hz |
| ファン容量 | | 1.0kW×2 | 1.2kW×2 |
| 定格電流 | | 10.55A | 10.30A |
| 最大負圧 | | -18.1kPa | -18.4kPa |
| 最大風量 | | 244.8$m^3$/h | 240.3$m^3$/h |
| 使用エアツール用エア圧力 | | Max.　0.7MPa | |
| エア接続口 | IN | R1/4 又は Rc1/8 | |
| | OUT | R1/4 又は Rc1/8 | |
| メインフィルター表面積 | | 0.9$m^2$ | |
| 浄化率　※ | | 95%以上 | |
| フィルター寿命　※ | | 4000～6000 時間 | |
| 質量 | | 36kg | |
| 騒音 | | 75dB | |
| 保護等級 | | IP24 | |

※メーカ試験による(テスト粉末：石英粉末、平均粒径:2μm)

## 6. 主要寸法



## 7. パーツリスト




| 番号 | 製品番号 | 名　　称 | 員数 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | V374593 | モーターユニット | 1 | Assy 部品（2 含む） |
| 2 | V085190 | カーボンブラシ | 4 | |
| 3 | V374594 | モーター | 2 | |
| 4 | V146370 | フラップバルブ | 1 | |
| 5 | V070920 | ダストボックス | 1 | Assy 部品(4 含む) |
| 6 | V903550 | モーターユニット固定用ファスナー | 2 | |
| 7 | V114300 | フィルターケーシング | 1 | Assy 部品 |
| 8 | V119951 | ファインフィルター | 1 | |
| 9 | V071011 | ダストボックス固定用ファスナー | 2 | |
| 10 | V115011 | ダストパック | 1 | |
| 11 | V096251 | ブレーキ付きキャスター | 2 | |
| 12 | V097740 | 上部ハンドル | 1 | |
| 13 | V374595 | ケーブル | 1 | |
| 14 | V070980 | ハンドル | 1 | |
| 15 | V071030 | ハンドル固定用ノブ | 2 | |
| 16 | V071200 | フレーム | 1 | |
| 17 | V072020 | ホイールキット | 1 | Assy 部品 |
| 18 | V191230 | クリーニングキット(CE-370P) | 1 | |
| 19 | V151300 | ホースカプラ | 1 | |
| 20 | V160370 | ホース | 1 | ホースカプラ付属 |
| 21 | V195960 | エルボパイプ | 1 | |
| 22 | V195970 | ストレートパイプ | 1 | 2 本/セット |
| 23 | V195910 | フロアノズル | 1 | |

## 8. 不具合内容 FAX シート

・不具合･故障の原因を追求するために、及び修理サービスの充実を図るために必要となりますのでお手数ですが下記の FAX シートに必要事項を記入して、弊社営業所宛てに送信してください。

<table>
<tr><th colspan="2">不具合内容 FAX シート</th></tr>
<tr><td>フリガナ<br><br>貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿</td><td>フリガナ<br><br>ご担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フリガナ<br><br>ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿<br><br>＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿</td><td>ご所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿</td></tr>
<tr><td>ご連絡先<br>Tel. （　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿<br>Fax. （　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿</td></tr>
<tr><td>製品名<br>ポータブルユニット</td><td>形式<br>P300i</td></tr>
<tr><td>使用期間<br>20　　年　　月 ～　　年　　月</td><td>SERIAL No.<br>（LOT No.）</td></tr>
<tr><td>運転頻度　　□連続<br>□　　断　　続<br>hr／日･週･月</td><td>購入年月日<br>購入販売店</td></tr>
<tr><td colspan="2">機器の状態（不具合の内容・電源・粉塵の種類など）</td></tr>
</table>

**9. 製品保証登録 FAX シート**

・お手数ですが、下記の FAX シートをコピーして必要事項をご記入の上、弊社宛てにご送信ください。
（フリガナ指定の箇所は、必ずご記入ください。）

**製品保証登録 FAX シート**

| | |
|---|---|
| フリガナ<br><br>貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ | フリガナ<br><br>ご担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ |
| フリガナ<br><br>ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿<br><br>＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ | <br><br>ご所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿<br>ご連絡先<br>Tel.（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿<br>Fax.（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿ |

■貴社の業種を下記より選んで○で囲んで下さい。

| | | |
|---|---|---|
| 1.ガソリンスタンド | 2.自動車整備業 | 3.自動車部品製造 |
| 4.車両・造船業 | 5.製鉄業 | 6.機械加工業 |
| 7.機械製造業 | 8.電気機械器具製造 | 9.半導体製造業 |
| 10.化学・プラント | 11.建築・土木 | 12.塗料・インキ製造業 |
| 13.薬品・樹脂 | 14.食品製造業 | 15.塗装業 |
| 16.鉄道・バス・運輸業 | 17.窯業・陶器製造 | 18.印刷産業 |
| 19.鋳造業 | 20.石油産業 | 21.電気部品製造 |
| 22.軽金属・非鉄 | 23.織物・家具 | 24.バルブ |

25.その他（詳しくご記入下さい。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

■本機をお知りになったきっかけを○で囲んで下さい。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 新聞 | 1.日刊工業新聞 | 2.日本工業新聞 | 3.日経産業新聞 |
| | 4.日刊自動車新聞 | 5.燃料油脂新聞 | 6.その他の新聞 |
| 雑誌 | 7.IEN | 8.化学装置 | 9.IPG　10.その他の雑誌 |
| | 11.販売員に薦められて | 12.展示会 | 13.カタログで |

| | | |
|---|---|---|
| ご購入年月日 | ＿＿＿年 ＿＿＿ 月 ＿＿＿ 日 | ご購入目的 |
| ご購入販売店 | | ご使用条件 |
| 製品名（形 | | |
| 製品番号 | | |
| SERIAL.No. | | |
| LOT.No. | | |

宛先

**株式会社 ヤマダコーポレーション**
営業部　製品保証登録係
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

## 10. 保証規定

本機は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より１２か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、又は新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

**1.保証期間 :製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。**

**2.保証内容：**期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

**3.適用除外：**期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

(1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
(2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
(3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
(4) 弊社、又は弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
(5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
(6) パッキン、ホースなどの消耗部品の摩耗。
(7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
(8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
(9) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品ならびに消耗部品については、保証の適用から除外させていただきます。

**4.補修部品:**補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

**(控)**

| | |
|---|---|
| 型 式 | |
| 製 造 番 号 | |

| | |
|---|---|
| ご購入年月日 | |
| ご購入の販売店 | |

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。


## 株式会社ヤマダコーポレーション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 本社・営業部 | 〒143-8504 | 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号 | TEL(03)3777-4101(代) | FAX(03)3777-3328 |
| 札幌営業所 | 〒062-0002 | 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号 | TEL(011)821-0630(代) | FAX(011)821-0949 |
| 仙台営業所 | 〒983-0034 | 仙台市宮城野区扇町 2 丁目 2 番 44 号 | TEL(022)232-4743(代) | FAX(022)232-4756 |
| 東京営業所 | 〒143-0025 | 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号 | TEL(03)3777-3171(代) | FAX(03)3777-6770 |
| 名古屋営業所 | 〒463-0052 | 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号 | TEL(052)795-0222(代) | FAX(052)795-0444 |
| 大阪営業所 | 〒537-0025 | 大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号 | TEL(06)6971-5301(代) | FAX(06)6974-0497 |
| 広島営業所 | 〒733-0833 | 広島市西区商工センター5 丁目 3 番 5 号 | TEL(082)278-5341(代) | FAX(082)278-5310 |
| 福岡営業所 | 〒812-0888 | 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号 | TEL(092)581-5477(代) | FAX(092)581-6524 |
| 相模原工場 | 〒229-1112 | 神奈川県相模原市宮下 1 丁目 2 番 38 号 | | |

| | | |
|---|---|---|
| YAMADA AMERICA Inc. | 955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA | TEL 1-847-631-9200 |
| YAMADA EUROPE B.V | Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo(O), The Netherlands | TEL 31-0-74-242-2032 |


200906 EXT020U